

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

平成 28 年 11 月 10 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラからヒートポンプへの更新プロジェクト
プロジェクト番号	KC0880
排出削減事業者名	株式会社サラダファーム□
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	10 号ハウス (住所：岩手県八幡平市平笠第 2 地割 6 番地 8)
事業の概要	A 重油ボイラ 2 基をヒートポンプ 2 基に更新し、省エネルギーを図ると共に、低炭素燃料への転換によって CO2 排出量を削減する。□
排出削減量の計画	2011 年度 80tCO2 2012 年度 80tCO2 2013 年度 52tCO2 2014 年度 54tCO2 2015 年度 54tCO2 2016 年度 54tCO2 2017 年度 54tCO2 2018 年度 54tCO2 (事業実施期間合計 482tCO2)
クレジット 認証期間	開始日 2011 年 4 月 1 日 終了予定日 2019 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 「空調設備の更新」

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年5月18日（第4回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	107tCO <sub>2</sub> （2013年4月1日～2016年5月18日）
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 4回目のため該当なし  2) 対象期間中の設備稼働確認 更新されたヒートポンプは実績確認期間中、継続的に稼働していることを電力使用集計表及び関係者へのヒアリングにて確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 電力会社からの請求書を元に集計することを、証拠との突合、検算などにより確認した。又、本件は簡易モニタリング方法を適用し、推定誤差が適切に算定され、誤差が約1%であり、5%未満であることを確認した。  2) 活動量の正確性 関係者への質問、活動量の実績データの検証、排出削減量算定の検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている排出係数等が J-クレジット制度・モニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver2.5 によるデータ及び排出削減事業計画であることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。□</p>
算定期間が移行期間内であること	本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2016 年 5 月 18 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2019 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。

## 5. 承認排出削減事業からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

## 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 26.3kl であることを確認した。

前回実績との比較であるが、年平均の排出削減量で比較すると大きな差が発生している。ただし、電力使用量で比較をすると、前回実績と今回実績で空調を利用する期間のうち比較可能な 10 月～3 月での実績比較をすると、-13%の変動であることが確認出来ている。従って、乖離理由は、前回実績が冬季期間のみで、電力の CO2 排出係数と空調を停止している期間（6 月～9 月）の期間の存在によるものと想定される。